



決算説明動画配信のご案内

当社のYouTubeチャンネルにて、2023年3月期第2四半期決算に関する説明動画を配信しております。ホームページのリンクもしくは右記QRコードをお読みいただければご視聴可能です。今後もYouTubeチャンネルにてさまざまな情報を発信してまいります。

アクセス方法



パソコンから
<https://www.nichidai.jp>



スマートフォンから

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右のQRコードからアクセスいただけます。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページ(https://www.nichidai.jp)にて掲載
単元株式数	100株

株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
本社 TEL (0774) 62-3481 (代)

ニチダイグループの詳しい情報については、右記QRコードからホームページをご覧ください。
<https://www.nichidai.jp>



NICHIDAI REPORT



証券コード 6467

Vol. 42

2023年3月期 中間期
2022.04.01~2022.09.30



特集 | 中期経営戦略「CHANGE~ニチノベーション2026~」達成に向けて

鍛造DXが拓く、新しいものづくり。

MONOZUKURI MANAGEMENT SYSTEM & TANZOU「DX」

「総合力」で、難局を乗り越える。

挽回に全力、黒字化を果たす

上半期の業績

上半期は、当社グループの主要顧客である日系自動車産業が中国・上海市のロックダウンなどの影響により、半導体をはじめとする部品調達難に見舞われ著しく停滞しました。そのため、金型や精密鍛造品の需要が減少し、ネットシェイプ事業の業績は想定以上の落ち込みとなりました。生産減をあらかじめ見込んでいたアセンブリ事業においても、需要の減少幅が当初の予想よりも大きく、計画を下回る結果となりました。一方、自動車産業の動向に左右されないフィルタ事業は好調を保ち、前年同期比で増収を達成しております。

これらの状況を受けて、上半期は売上高52億4千8百万円（前年同期比22.7%減）、営業損失1億4千3百万円（前年同期は2億5千5百万円の営業利益）、経常損失2千5百万円（前年同期は2億5千万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億5千1百万円（前年同期は1億4千2百万円の四半期純利益）と減収減益となり、計画未達に終わりました。

通期の見通し

下半期は、部品調達難が解消しつつあり、日系自動車メーカーが今後挽回生産に入ることを見込んでいます。ネットシェイプ事業においては、自動車生産回復による需要の取込みに万全を期して対応していきます。アセンブリ事業に

おいては、ターボチャージャー部品の需要が一定程度回復することを想定しています。産業が広範囲に及びフィルタ事業は、需要の伸びが期待できる中国市場への対応をさらに強化しております。

しかしながら、下半期に見込まれる需要の高まりだけでは上半期の落ち込みをカバーすることが難しく、売上高114億円（前年同期比7.3%減）、営業利益4千万円（前年同期比81.6%減）、経常利益1億8千万円（前年同期比32.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益6千5百万円（前年同期は6億1千9百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）と、通期の業績予想を下方修正しました。今後は、確実な需要を取り込みながら新市場開拓にも力を入れ、業績の回復に努めていきます。

アフターコロナと次代への対応

海外展開と製品開発

当社は顧客のニーズと課題を聞き出し、営業部門と技術部門が一体になって対応するという提案型営業を強めています。自由な往来ができないコロナ禍のなか、リモートを中心とした新しい営業の形も進めてきました。しかしながら、当社の強みである提案型営業はリモートだけでは実現しづらい部分があり、今後はリモートを活用しつつ、対面営業も強化していきます。さらに、アフターコロナを見据え、海外市場への営業をどのように推進していくか、また、海外拠点はどのような役割を担うべきか、新たな海外戦略を構築し、進めていきます。

新たな製品開発に関しては、次世代自動車を念頭に置いた「EV用スクロール鍛造品」「バッテリーケース」「電極タブ（ハイブリッドタブ）」や、金型の予知保全につながる「ものづくりマネジメントシステム（インテリジェントダイセット）」（詳細はP7「特集」参照）など、顧客のニーズと当社グループ

の強みを活かせる分野に焦点を絞り、それぞれ製品化・事業化を目指して鋭意取り組んでおります。

株主担当

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要施策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。

配当につきましては、中間配当は期初予想通り4円とさせていただきます。期末配当も当社業績の復調を見込み、期初予想通り4円、年間配当合計8円を予定しております。当社グループはこの上半期、部品調達難などによる日系自動車産業の生産停滞の影響により計画を大幅に下回りました。下半期は回復を見込みますが、過度の物価上昇によるインフレによる経済成長の減速が懸念されるなど、予断を許さない状況が続いております。今期新たに策定した中期経営戦略を着実に実行し、今後の環境変化に対応していきます。

株主の皆さまには、当社グループの現況のご理解を賜りますとともに、今後の発展にご期待いただけますようお願い申し上げます。

▶ 2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日） 通期連結業績予想値の修正（2022年10月31日発表）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
期初計画 (4月発表)	12,200	310	300	200
修正計画 (10月発表)	11,400	40	180	65
増減額	△800	△270	△120	△135
増減率(%)	△6.6	△87.1	△40.0	△67.5
前期実績 (2022年3月期)	12,301	217	264	△619

単位：百万円

代表取締役社長
執行役員

伊藤 直紀

3つの事業を展開

高精度な自動車部品をつくる「金型」をトータルサポート

ネットシェイプ事業

Net-Shape Business

一発のプレスで
材料を複雑な形状に加工

材料 → 鍛造 → 部品

高精度 省資源 高強度

金型
工程設計から金型生産・部品製造までのトータルエンジニアリングを提供

精密鍛造品
金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供

自動車用ターボチャージャーのキーパーツを組立て

アッセンブリ事業

Assembly Business

多くのパーツを組み合わせて
部品を組立て

パーツ → 組立て → ターボチャージャーメーカーを通じて世界各國の自動車メーカーへ

高品質 自動化 2種生産

ターボチャージャーの部品
ターボチャージャー部品の組立てで顧客企業の現地調達ニーズに対応

この部分を組立てています。

過酷な条件でも使える金属フィルターをさまざまな産業に提供

フィルタ事業

Filter Business

ステンレスの金属を
重ねて焼結して加工

ステンレス金網 → 焼結炉 拡散接合技術で一体化 → 産業用フィルター

高強度 耐熱 耐酸性

産業用フィルター
積層焼結フィルターの生産と顧客メーカーの用途に応じた形状に加工

洗浄・再生サービス
フィルターの洗浄・再生サービスの提供

ニチダイグループの事業、製品の詳細情報については右記QRコードからご覧いただけます。



事業紹介

ネットシェイプ製品

フィルター製品

フィルタ事業 Filter Business

■上半期の概況

フィルタ事業につきましては、自動車業界以外の多種多様な産業の顧客で構成されております。さまざまな顧客の新規需要を取り込み、前年と比べ売上高は増加しました。その結果、売上高は12億3千3百万円(前年同期比0.9%増)となりました。



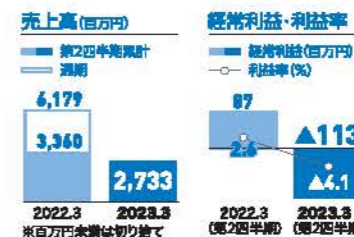
■下半期の見通し

引き続き3N(新市場、新用途、新製品)をもとに新たな需要創出に積極的に取り組んでいきます。そのため、売上高の遅期見通しは24億3千万円(前年同期比0.7%増)となります。

ネットシェイプ事業 Net-Shape Business

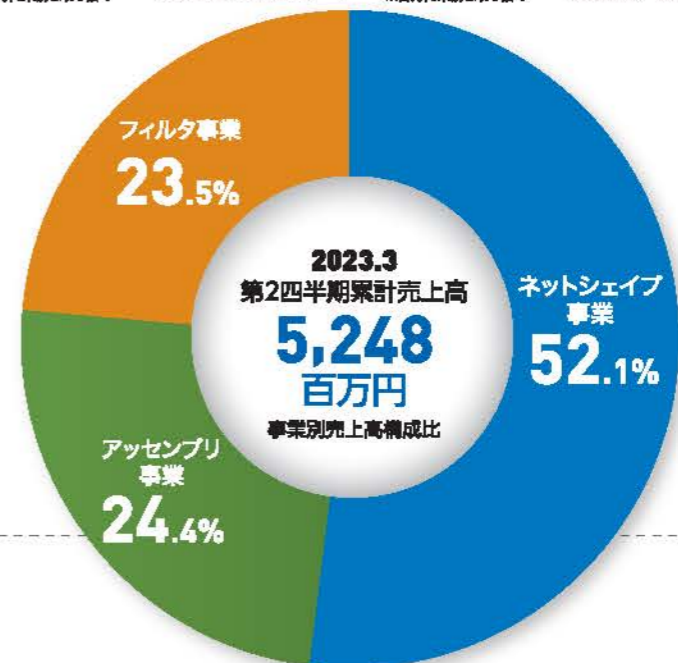
■上半期の概況

上半期は、部品調達に大きな混乱が生じ、主要顧客である日系自動車メーカーにおける生産停滞が継続したことから、売上高が低調に推移いたしました。その結果、ネットシェイプ事業の売上高は27億3千3百万円(前年同期比18.7%減)となりました。



■下半期の見通し

下半期は部品供給不足などが解消され、自動車生産台数の回復を想定し、ネットシェイプ事業も下半期から回復することを見込んでおります。そのため、売上高の遅期見通しは61億円(前年同期比1.3%減)となります。



アッセンブリ事業

Assembly Business

■上半期の概況

上半期は部品供給不足などが原因の生産停止による需要減少などに影響され、ターボチャージャー部品の需要がさらに落ち込む結果となりました。そのため、アッセンブリ事業の売上高は12億8千1百万円(前年同期比41.9%減)となりました。



■下半期の見通し

上半期は大幅に減少しましたが、下半期はターボチャージャー部品の若干の回復が見込まれることとなります。そのため、売上高の遅期見通しは28億7千万円(前年同期比22.6%減)となります。

CHANGE ~ニチノベーション2026~ の取組み

CHANGE

01

VSOP*精神での顧客価値創造

技術を軸とする当社の主力事業が競争力を失わずに継続していくためには、研鑽を積んできた技術を磨き、応用・進化させていかなければなりません。本特集では、当社のコア技術と、それを基盤に胎動する新技術を紹介します。

*VSOP: Vitality(活気・生命力)、Specialty(専門性・技術)、Originality(独創性・創意)、Passion(情熱)の頭文字。当社の創業から受け継がれている精神。

Net-Shape Business
ネットシェイプ事業

ニチダイのコア技術「精密鍛造金型」

世界の自動車部品メーカーが求める精密鍛造金型や精密鍛造品を提供。複雑な形状の部品でも少ない工程で成形する当社の技術は、各方面から高い評価をいただいています。

※ネットシェイプとは・・・常温で切削加工なしに完成品形状に成形すること

磨き抜かれた独自の技術

ネットシェイプを実現する精密鍛造金型

精密鍛造金型のトップメーカーである当社は、創業以来培ってきた高度な技術を駆使して、それぞれのお客さまの要望・用途に最適なソリューションを提供しています。業界で圧倒的な強みを持つ冷間鍛造はもとより、温間・熱間鍛造、さらに他分野である板鍛造や粉末成形なども含めた最適な工法をご提案することで、部品のネットシェイプ化を実現します。



ネットシェイプ工法は
「高精度」「高強度」「低コスト」を実現



精密鍛造品は自動車部品などで使われています

- エンジン関連部品
- 駆動関連部品
- トランスミッション部品
- カーエアコン用部品



FOCUS

中期経営戦略の取組み

CHANGE 01 VSOP精神での顧客価値創造

- 事業の成長と収益力強化
- コア技術の応用と進化による提案力強化
 - 顧客視点でのQDC最大化
- 新事業の創出とグローバル企業への進化
- シナジーを活用した新分野への探索と挑戦
 - グローバル戦略強化

CHANGE 02 社員が輝き続ける会社づくり

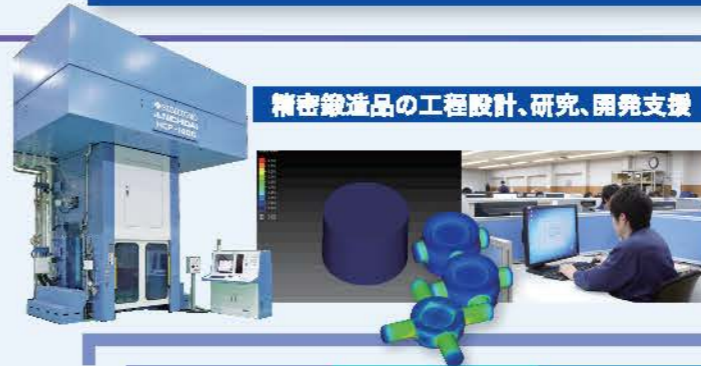
- 社員の成長、会社の成長を喜び相互関係の構築
- 挑戦を歓迎する仕組みづくり
 - 組織風土改革
- 社員が誇れる企業への成長
- ダイバーシティの推進
 - 健康経営の実現

CHANGE 03 持続可能な社会への貢献

- 社会から必要とされ、選ばれる企業へ
- 技術による社会課題の解決
 - ESG経営の推進
- 次世代社会への貢献
- 環境に配慮したものづくり改革
 - サステナブル社会への取組み

精密鍛造品の工程設計、研究、開発支援

金型づくりを支えるトータルエンジニアリングシステム



金型に関する基礎研究を行う体制を保有し、冷間鍛造の上流から下流までを手掛けられるのが当社の強み。お客さまと一緒に技術開発を進めています。



進んでいます！

基礎試験で「金型の寿命延長」に挑む

金型は硬度が高い材料をプレスによって常温のまま変形させる際に巨大な圧力がかかるため、一定程度使用すると金型が破損して寿命を終えることとなります。顧客に高品質の金型を提供するため、ニチダイは寿命延長をメインテーマに、基礎試験に注力

しています。先進的な設備を導入し、金型の寿命に直結する要因の1つを発見し、品質と生産効率の最適解を導き出す試験をしています。さらに、もう一つのメインテーマである金型の寿命予測についての試験も現在進行しています。



精密鍛造金型のフロンティア企業として、「新技術への挑戦」を進めています

鍛造DXとは

ネットシェイプを新領域へ

「ものづくりマネジメントシステム」

鍛造DX

IVI つながるものづくりアワード2022 最優秀賞受賞

鍛造をDX化する「インテリジェントダイセット」を開発

精密金型のトップメーカーとしての知見を活かし、ニチダイが新しい価値を提案します。次世代のものづくりを支えることを目指す、「ものづくりマネジメントシステム」をご紹介します。

金型破損や製品不良を「見える化」、多様なメリットを創出

1 作業者の熟練度に頼らず
金型の劣化を検出



従来は熟練作業者が目視で製品検査をすることで金型に発生する異常を判断していましたが、センサで金型の状態を見える化することで、異常の発生を誰でも簡単に判断できるようになることが期待できるようになります。

2 データの蓄積・分析で
金型の寿命予測につなげる



収集したデータを分析することで、金型の使用方法や状態判断、寿命予測が期待できます。また、そこからメンテナンスによる寿命延長や交換時期の提案など、お客さまにさらなる価値のあるサービスの提供も期待できます。

3 取得データで製品の
品質評価ができる可能性を模索



これまでのデータ収集はトレーサビリティ管理が主で、不具合が発見された時に遡って原因を分析するものでしたが、鍛造のDX化で取得するデータは品質と結び付けられるため、「現在」の品質を評価することが期待できます。

ものづくりマネジメントシステム

MONOZUKURI MANAGEMENT SYSTEM

金型の状態を可視化するセンシング機能を保有
インテリジェントダイセット

ダイセット



既存のダイセットに、お客さまの要望に応じて、各種センサを特定の場所に取り付けます。

主にダイセット内に組込まれるセンサ

- 荷重センサ**
成形金型ごとの実荷重を確認
- 変位センサ**
成形時の金型の実変位を確認
- AEセンサ**
成形時の金型内部の変化を確認
- ネットワークカメラ**
成形と連動させ状態を確認

データの蓄積と分析を行う



異常データを蓄積・分析し、定量的な品質管理を実現します。

プレス内部を
データとして
見える化



AE・荷重・変位センサにより従来手法に比べ、はるかに早い段階で金型の異常検知を可能にし、製品不良などの未然防止を図ります。

開発者の目標



今こそ、不良品を出さない生産システムにシフトする時

現場で監視していても金型の異常には気付けない。しかし異常のある金型でプレスを続けると不良品を大量に生産してしまう。この難題を解決すべく、同製品は開発されました。従来プレス機のまま、ダイセットの交換

のみで使用できるのが大きな特長です。不良品を出さないためにどうすれば良いか。金型業界の長年の課題に対する、これは一つの答えです。

新事業開発部 主任 森 満帆



TOPICS 1

13TH WORLD FILTRATION CONGRESS (WFC13) にフィルタ事業が参加

フィルタ事業を担っている当社子会社のニチダイフィルタ(株)とNICHIDAI U.S.A. CORPORATIONは、10月6日から8日にアメリカ・サンディエゴで開催された世界フィルタ学会に参加しました。この学会は4年に1度、世界各国の会社、大学から多くの方々が参加され、各自が研究開発した成果発表と展示会が開催されます。展示会では100社以上のブースが出展され、フィルタ事業としては焼結したフィルタ製品の展示を行い、多数の方が当社ブースに来場され、焼結フィルタに興味を示していただきました。当社が日本企業であり世界最大規模の焼結炉を擁した焼結技術を確立していることに関心を持たれ、北米市場での伸びしろを感じました。新たな顧客とのコネクションも構築できましたので、北米市場での販売活動に引き続き邁進します。

TOPICS 2

IVIつながるものづくりアワード2022「最優秀賞」を受賞

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ(以下IVI)※の「IVIつながるものづくりアワード2022」において、当社の「鍛造プレス機のインプロセス管理」が最優秀賞を受賞しました。受賞理由として、「鍛造という製造技術の中でも「見える化」がとても難しいテーマに取り組み、複数のセンサーによる多面的なアプローチを実施した。複雑な因果関係を持ったデータを見やすくわかりやすく解析している部分にも創意と工夫があった。この活動は、今後もさらに発展していくと期待でき、最優秀賞にふさわしい成果と認められる」と評価をいただきました。



IVI Industrial Value Chain Initiative

※ものづくりとIT技術を融合させて、ものづくりのDX(新しい価値創造)を目指して設立されたコンソーシアム

株主さまアンケート結果 たくさんのご回答、ありがとうございました

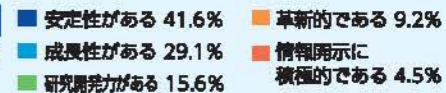
2022年6月に発行した株主通信(Vol.41)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答をいただきました。下記に、アンケート結果の内容を、一部ご紹介いたします。



当社についてもっと知りたい情報



当社に対してのイメージ



ご意見 Q&A コーナー

Q 中計(中期経営戦略)を詳述してほしい。

A 今号(P5-P8)はネットシェイプ事業における中期経営戦略(CHANGE~ニチノバージョン2026~)に焦点を当て、CHANGE①の取組みを紹介させていただきました。今後も引き続き、各事業及び中期経営戦略の具体的な内容を取り上げていきたいと考えております。

Q フィルタ事業に積極的に取り組んでほしい。

A 営業力の向上を目的としたホームページのリニューアルや生産力の向上に向けた社内教育の強化など、更なる収益強化に力を入れています。また、フィルタ事業はアメリカの展示会へ出展や水素バリューチェーンへの参画など、拡大に向けて積極的に活動しており、多種多様な産業と接点を持ち、研究開発も積極的に取り組んでおります。今後も弊社の収益の柱の一つとして、引き続き成長してまいります。

Q 円安の影響はいかがですか？

A 当社における為替の影響は、営業外収益において、お答益4千万円が生じました。ただし、主要顧客業界である自動車業界では、円安が利益を押し上げている要因になる一方、材料費高騰などの影響も生じております。当社は自動車産業に関連しているため、それらの影響を受けることとなります。そのため、今回のような急激に変動する円相場では良い影響と悪い影響の両方を受けております。

Q アンケートはネット回答形式でもいいと思いますが変更の予定はありますか？

A 以前からご意見をいただいておりますので、今号から、ハガキとWebアンケートを併用する形とさせていただきます。アンケートの回答状況を鑑み、今後ハガキでのアンケート形式からの移行も見据えて検討していきたいと考えております。株主さまからいただいた貴重なご意見をしっかりと感謝し、今後の展開方針を策定してまいります。

株主さまアンケート ご協力をお願い

当社では、今後の経営やIR活動に反映させていただくため「株主さまアンケート」を実施しております。ご意見、ご感想を同封のアンケートハガキまたはQRコードを前み込み、ご記入いただけますようお願いいたします。



アンケートにご回答いただきました株主さまより **抽選** で **QUOカードをプレゼント**

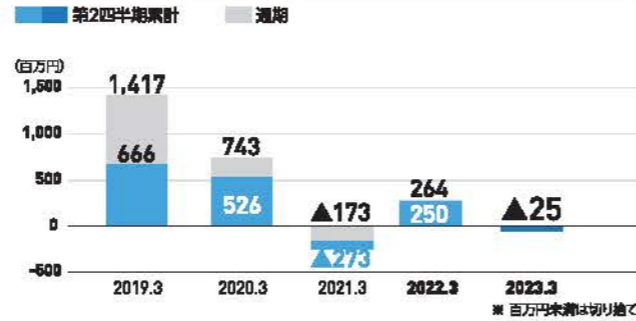
※当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代させていただきます。

プレゼント対象期間:2022年12月未まで/アンケートは12月以降も実施しております。

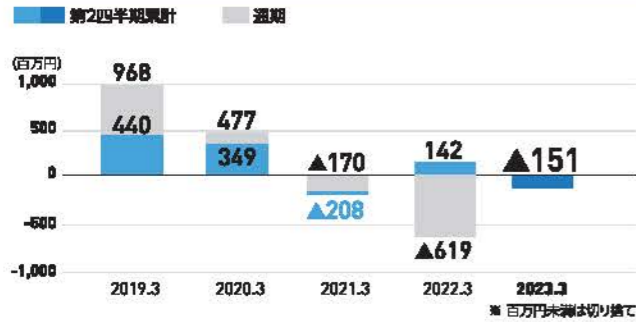
売上高(第2四半期累計)



経常利益(第2四半期累計)



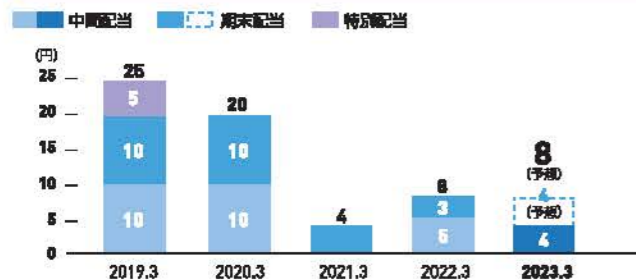
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(第2四半期累計)



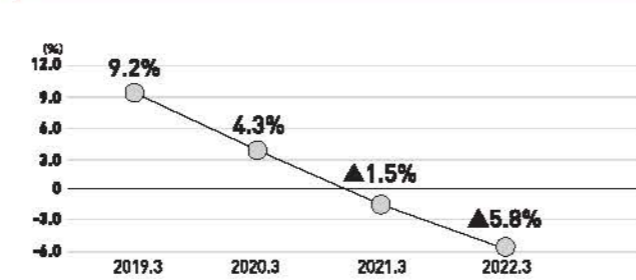
新資産額/自己資本比率



一株当たりの配当金

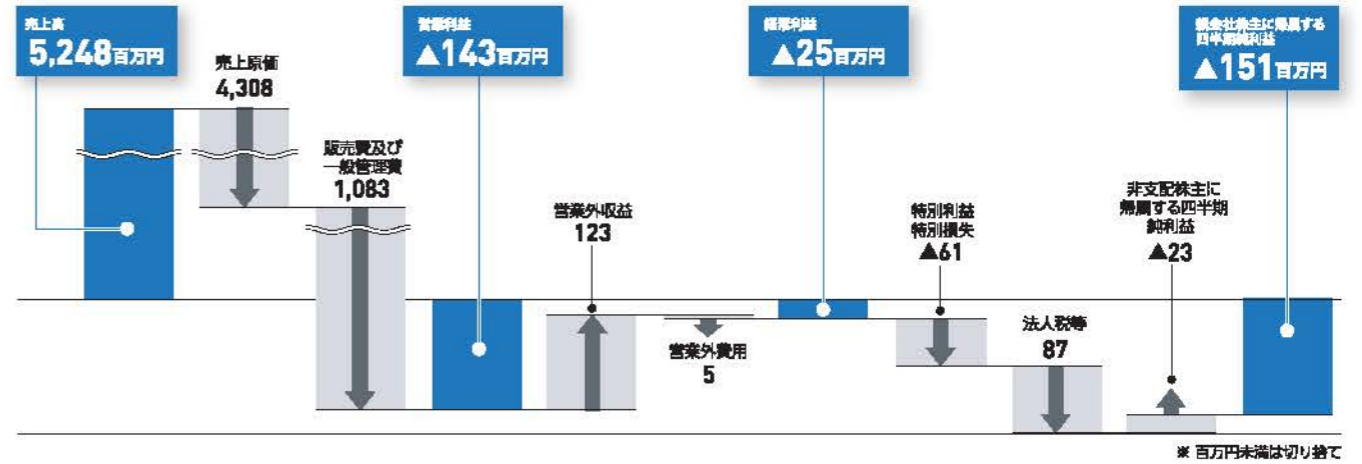


ROE(自己資本利益率)



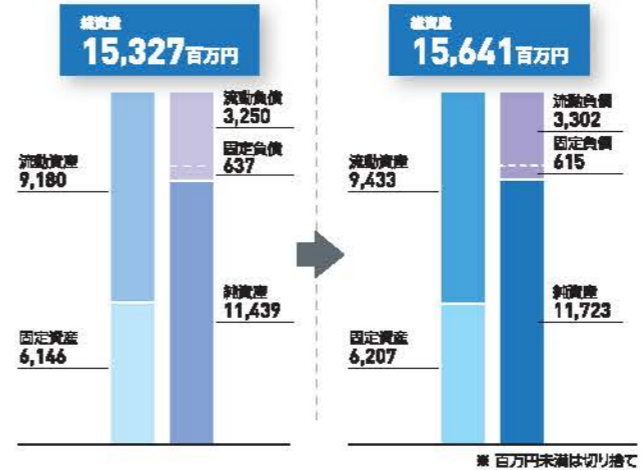
連結損益計算書

当 第2四半期 (累計) (2022年4月1日～2022年9月30日)



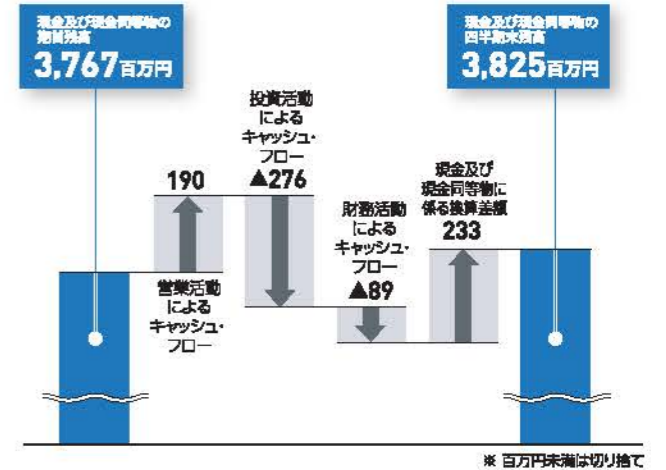
連結貸借対照表

前期末 (2022年3月31日) 当 第2四半期末 (2022年9月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書

当 第2四半期 (累計) (2022年4月1日～2022年9月30日)



国内の主要な事業所 (2022年9月30日現在)

- ① 本社・京田辺工場
京都府京田辺市新北町田13
- ① 宇治田原工場
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- 熊谷営業所
埼玉県熊谷市桜木町2-88
- 京都営業所 (宇治田原工場敷地内)
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- 浜松営業所
浜松市中区高丘西3-12-3
- 岡山営業所
岡山市北区今8-8-8
- 名古屋営業所
名古屋市名東区高社2-127
- 熊本営業所
熊本市東区長瀬南1-1-7

○ ネットシェイプ事業 ○ アッセンブリ事業 ○ フィルタ事業

関連会社 (2022年9月30日現在)

- ② ニチダイフィルタ株式会社 (宇治田原工場敷地内)
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- ③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.
700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand
- ④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.
Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand
- ⑤ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION
1446 Reynolds Road, Suite 303, Maumee, OH, 43537, USA
- ⑥ NICHIDAI ASIA CO., LTD.
700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand



本社



京田辺工場



宇治田原工場



NICHIDAI (THAILAND) LTD.



THAI SINTERED MESH CO., LTD.

会社概要 (2022年9月30日現在)

社名 株式会社ニチダイ
(英文表記) NICHIDAI CORPORATION
証券コード 6467
本社所在地 京都府京田辺市新北町田13
創業年月日 1959年5月5日
設立年月日 1967年5月1日
資本金 14億2,992万円
従業員数 370名(単独)
679名(連結)

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 15,500,000株
発行済株式の総数 9,053,300株
単元株式数 100株
株主数 4,249名

大株主	株主名	持株数	持株比率
有限会社ジャスト		885,600	9.78%
田中 克尚		477,188	5.27%
ニチダイ従業員持株会		426,044	4.70%
中棹 知子		282,600	3.12%
永井 詳二		270,000	2.98%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)		259,600	2.86%
古屋 啓子		252,600	2.79%
京都中央信用金庫		220,000	2.43%
株式会社三菱UFJ銀行		217,600	2.40%
大阪中小企業投資育成株式会社		154,000	1.70%

役員 (2022年9月30日現在)

取締役会長 古屋 元伸
代表取締役社長執行役員 伊藤 直紀
取締役執行役員 伊藤 正人 ネットシェイプ事業統括本部長
取締役 渡部 敏成 監査等委員 (増勤)
社外取締役 陰地 弘和 監査等委員
社外取締役 竹田 千穂 監査等委員

所有者別分布



所有者別株式数分布

